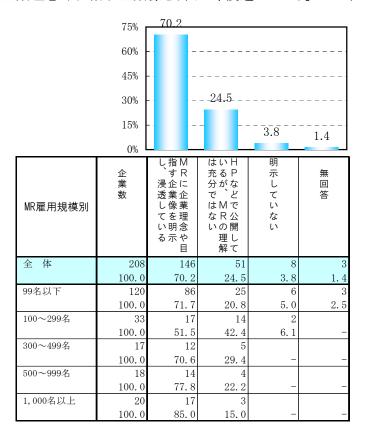
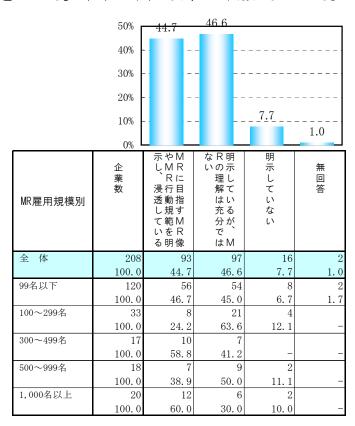
1. 自社の企業理念・目指す企業像

全体では、「MRに企業理念や目指す企業像を明示し、浸透している」が146社(70.2%)となっている。



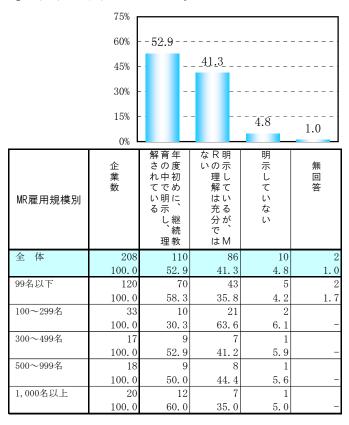
2. 自社の目指すMR像・MR行動規範

全体では、「明示しているが、MRの理解は充分ではない」97社(46.6%)、「MRに目指すMR像やMR行動規範を明示し、浸透している」93社(44.7%)となり、ほぼ同数となっている。



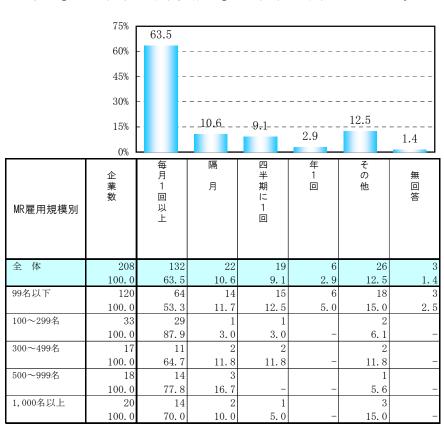
3. 自社のMR研修方針・研修計画

全体では、「年度初めに、継続教育の中で明示し、理解されている」110社(52.9%)、「明示しているが、MRの理解は充分ではない」86社(41.3%)となっている。



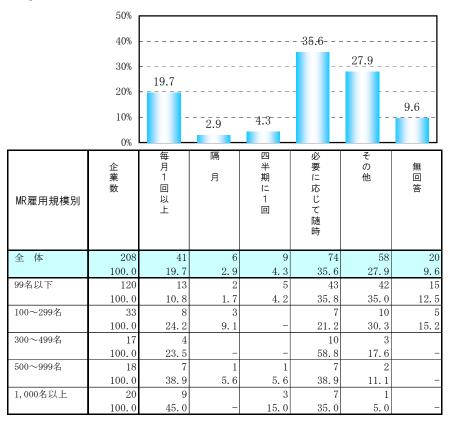
4. 集合研修の実施状況

全体では、「毎月1回以上」が132社(63.5%)、「隔月」が22社(10.6%)となっている。



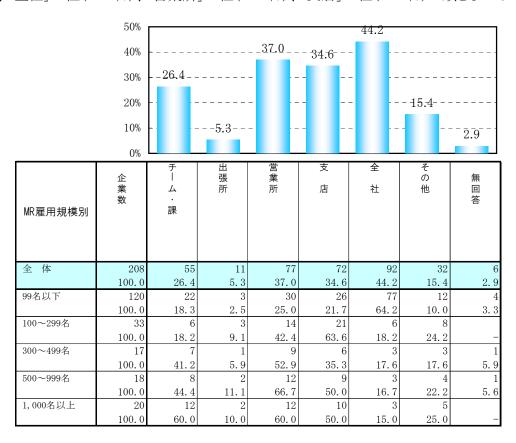
5. 衛星放送、TV会議、e-ラーニングなどの実施状況

全体では、「必要に応じて随時」が74社(35.6%)、「その他」が58社(27.9%)、「毎月1回以上」が41社(19.7%)となっている。



6. 集合研修の実施組織単位〔複数回答〕

全体では、「全社」92社(44.2%)、「営業所」77社(37.0%)、「支店」72社(34.6%)の順となっている。



7. 集合研修の実施組織単位別の集合人数〔平均〕

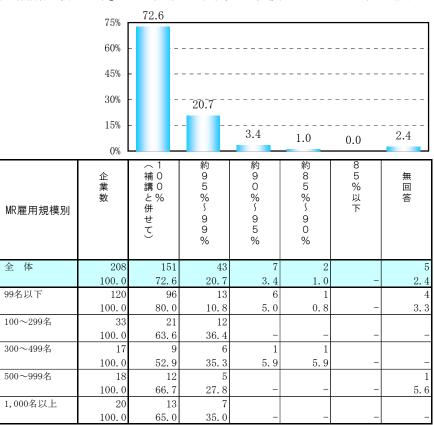
実施組織単位で上位を占めた「全社」「営業所」「支店」の全体での平均人数は、「全社」82.8名、「営業所」 15.5名、「支店」35.1名となっている。

MR雇用規模別	チーム・課	出張所	営業所	支店	全社	その他
全 体	155.8	10.2	15.5	35.1	82.8	84.7
99名以下	336.8	9.0	15.7	17.1	28.2	27.7
100~299名	6.6	11.3	17.1	24.0	125.7	39.2
300~499名	120.5	5.0	12.0	44.2	256.7	50.0
500~999名	9.0	9.0	13.5	58.2	687.7	341.8
1,000名以上	11.0	14.0	17.5	77.8	619.3	50.0

集合人数の平均人数〔名〕

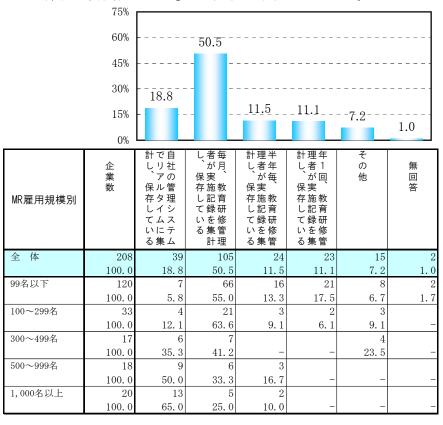
8. MRの出席率

全体では、「100% (補講と併せて)」が151社(72.6%)、MR規模別でもほぼ同様の傾向である。



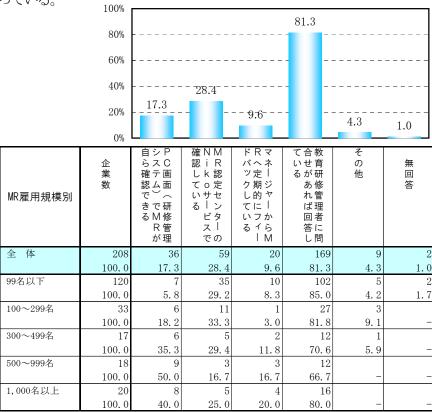
9. 研修実施状況の把握方法

全体では、「毎月、教育研修管理者が実施記録を集計し、保存している」が105社(50.5%)、「自社の管理 システムでリアルタイムに集計し、保存している」が39社(18.8%)となっている。



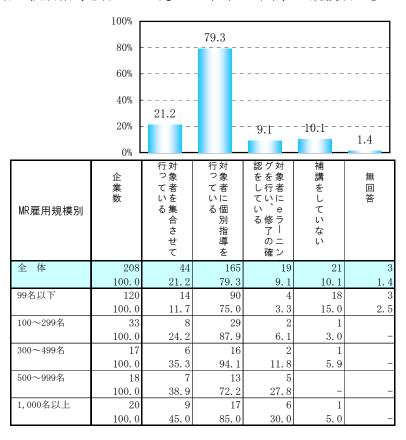
10. MRが研修履歴を確認する方法〔複数回答〕

全体では、「教育研修管理者に問合せがあれば回答している」が169社(81.3%)、「MR認定センターのNikoサービスで確認している」が59社(28.4%)、「PC画面(研修管理システム)でMRが自ら確認できる」36社(17.3%)の順となっている。



11. 欠席者の補講〔複数回答〕

全体では、「対象者に個別指導を行っている」が165社(79.3%)、MR規模別でもほぼ同様の傾向である。



①補講をしていない理由〔複数回答〕

-52.4

	45% 30% 15%	33.3	<u>42.9</u> - -	 	 4.8
	0%	時間	人 壬	その	4==
MR雇用規模別	企 業 数	間が取れない	人手が不足している	他	無回答
全 体	21 100. 0	7 33. 3	9 42. 9	11 52. 4	1 4.8
99名以下	18 100. 0	4 22. 2	8 44. 4	10 55. 6	1 5. 6
100~299名	1 100. 0	1 100. 0	1 100. 0	-	_
300~499名	1 100. 0	1 100. 0	_	1 100. 0	_
500~999名	_	_	_	_	-
1,000名以上	1 100. 0	1 100. 0	_	-	_
		ツ 大	A 344 344 1 L		**** = +

60%

※本欄の企業数は、回答企業数を表す

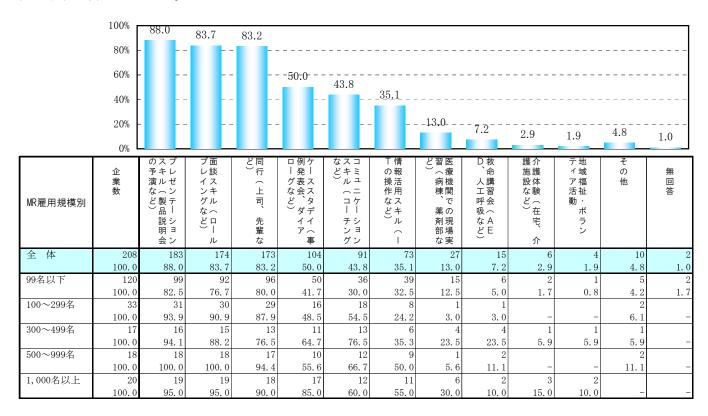
12. 継続教育で使用した教材〔複数回答〕

全体では、「自社作成の教材」187社(89.9%)、「公正競争規約」181社(87.0%)、「添付文書、インタビューフォーム」176社(84.6%)の順となっている。

MR雇用規模別	99名以下	1 0 0 5 2 9 9	3 0 0 4 9 9	500~999名	1000名以上	全体					
企業数	120 100.0	33 100.0			20 100.0	208 100.0	0% 20%	40%	60%	80%	100%
自社作成の教材(各種)	101 84.2	32 97.0	16 94.1	18 100.0	20 100.0						
公正競争規約 (解説書、公取協ニュース、Q&Aなど)	96 80.0	33 100.0	15 88.2		20 100.0						
添付文書、インタビューフォーム	99 82.5	30 90.9	13 76.5		19 95.0						
医療用医薬品プロモーションコード(製薬協)	67 55.8	25 75.8	13 76.5		17 85.0					 	
市販後調査業務手順書	67 55.8	25 75.8	11 64.7	14 77.8	16 80.0					 	
診療ガイドライン(各種)	58 48.3	25 75.8	14 82.4		20 100.0					; ! !	
MR研修テキストⅠⅡⅢ	68 56.7	18 54.5	11 64.7	7 38.9	5 25.0		_	I		 	
医療・医薬品業界の一般知識	50 41.7	18 54.5	12 70.6		15 75.0					 	
学会抄録集(各種)	50 41.7	18 54.5	9	-	8 40.0	94			1	 	
MRの果たすべき役割(MR教育センター)	43 35.8	4 12.1	6 35.3	_	2 10.0		I		1 1 1	 	
テレビ番組の紹介 (NHKスペシャル、今日の健康など)	31 25.8	8 24.2	4 23.5	4	3 15.0	50 24.0	_		1	 	
今日の治療指針(医学書院)	26 21.7	10 30.3	4 23.5	3	5 25.0	48		 	1		
今日の治療薬(南江堂)	20 16.7	11 33.3	5 29.4	3	4 20.0	43		 	1 1 1	 	
MR認定試験問題集(市販品)	20 16.7		3 17.6		0 -	00			 	 	
論文集「MRになって良かったこと」 (MR教育センター)	18 15.0	5 15.2	2		2 10.0	28		 	 	 	
MR漢方教本 I II (日漢協)	12 10.0	1 3.0	0 -	1 5.6	0 -	14 6.7		 	 	 	
その他	25 20.8	5	3 17.6	4	1 5.0	38		 	1 1 1	1 1 1	
無回答	2 1.7	0	0 -	0	0 -	1.0		 	 	 	
	1.1	l				1.0					

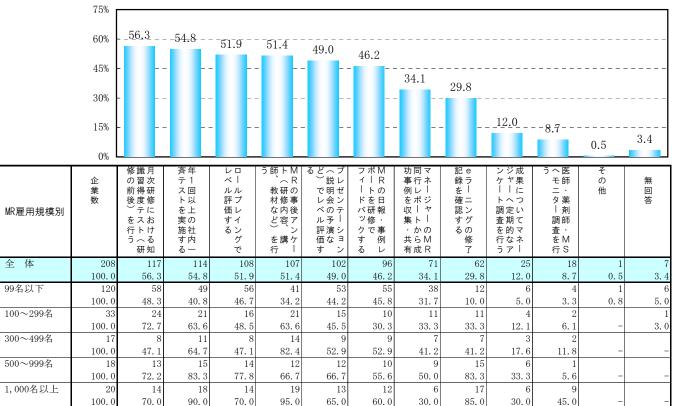
13. 実施した技能・実地研修〔複数回答〕

全体では、「プレゼンテーションスキル」183社(88.0%)、「面談スキル」174社(83.7%)、「同行」173社(83.2%)の順となっている。



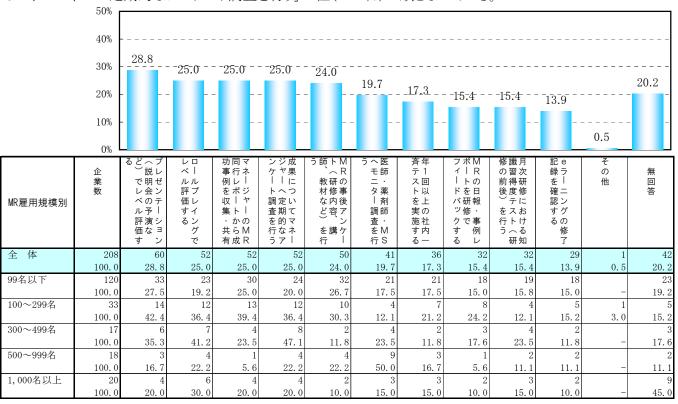
14. 研修の成果を確認するために、現在取り組んでいるもの〔複数回答〕

全体では、「月次研修における知識習得度テスト行う」117社(56.3%)、「年1回以上の社内一斉テストを実施する」114社(54.8%)、「ロールプレイングでレベル評価する」108社(51.9%)、「MRの事後アンケートを行う」107社(51.4%)の順となっている。



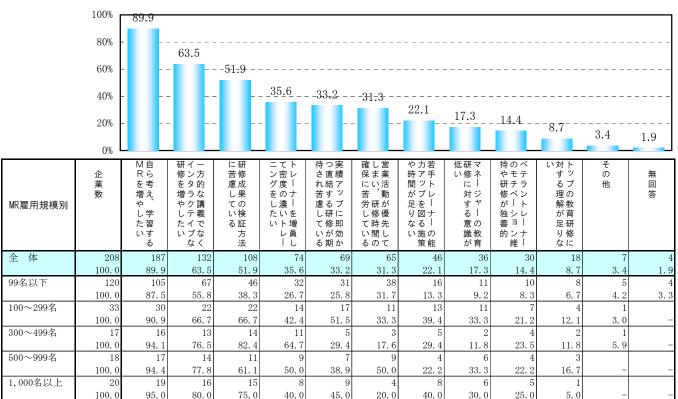
15. 研修の成果を確認するために、今後取り組みたいもの〔複数回答〕

全体では、「プレゼンテーションでレベル評価する」60社(28.8%)、「ロールプレイングでレベル評価する」52社(25.0%)、「マネージャーのMR同行レポートから成功事例を収集・共有」52社(25.0%)、「成果についてマネージャーへ定期的なアンケート調査を行う」52社(25.0%)の順となっている。



16. 継続教育の課題について〔複数回答〕

全体では、「自ら考え、学習するMRを増やしたい」187社(89.9%)、「一方的な講義でなくインタラクテイブな研修を増やしたい」132社(63.5%)、「研修成果の検証方法に苦慮している」108社(51.9%)の順となっている。



17. 継続教育を充実させるために、現在取り組んでいるもの〔複数回答〕

全体では、「一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う」131社(63.0%)、「偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる」130社(62.5%)、「MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する」104社(50.0%)の順となっている。

MR雇用規模別	99名以下	1 0 0 5 2 9 9	3 0 0 4 9 9 名	500~999名	1000名以上	全体					
企業数	120 100.0	33 100.0	17 100.0			208 100.0	0% 15%	30%	45%	60%	75%
一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	61 50.8	24 72.7	11 64.7								
偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	67 55.8	20 60.6	12 70.6		20 100.0			-			
MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	47 39.2	17 51.5	12 70.6		18 90.0						
医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル 研修を強化	44 36.7	14 42.4	14 82.4	14	15 75.0	101		ï	i	 	
医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案 する	50 41.7	13 39.4	11 64.7		15 75.0		-	- 1			
患者さんの立場で情報活動ができるよう研修内容 を工夫する	34 28.3	6 18.2	11 64.7	9 50.0	15 75.0			<u> </u>) 	1	
自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使い こなす	30 25.0	9 27.3	7 41.2	13 72.2	16 80.0		-	l	 	[] []	
研修ごとに到達目標を明確に設定する	28 23.3	9 27.3	6 35.3		16 80.0				1	 	
「自社の目指すMR像」又は「自社MRの行動規範」 を策定	28 23.3	16 48.5	5 29.4		12 60.0	70 33.7			 	i I I	
研修に対するトップやマネージャーの理解が得ら れる工夫	17 14.2	9 27.3	5 29.4		12 60.0	49 23.6			 	[] [
医学の高度化・専門化に対応できるような研修を 導入する	17 14.2	8 24.2	4 23.5	_	11 55.0	48 23.1			1	! ! !	
MRの考える力を高めるためにダイアローグを取り 入れる	17 14.2	6 18.2	6 35.3	_	14 70.0	46 22.1		1 1	 		
自学自習を習慣づけるために e ーラーニングシステムを充実	6 5.0	5 15.2	4 23.5	14 77.8	16 80.0				 		
若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミ ナーに参加	11 9.2	8 24.2	4 23.5				,		 	, 	
向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を 導入する	3 2.5	4 12.1	6 35.3	-	10 50.0	30 14.4		 	 	 	
全員が最新の教育理論と具体的な研修手法の共有 化を図る	9 7.5	3 9.1	3 17.6	_	8 40.0	27 13.0		 	 		
その他	1 0.8	1 3.0	0.0	0.0	0.0	2		 	 	1 1 1 1	
無回答	5 4.2	1 3.0	0.0	0.0	"	6 2.9		 	 	 	

18. 継続教育を充実させるために、今後取り組みたいもの〔複数回答〕

全体では、「医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案する」64社(30.8%)、「患者さんの立場で情報活動ができるよう研修内容を工夫する」63社(30.3%)、「医学の高度化・専門化に対応できるような研修を導入する」62社(29.8%)の順となっている。

MR雇用規模別	99名以下	1 0 0 5 2 9 9	3 0 0 4 9 9	500 999 名	10000名以上	全体	
企業数	120 100.0	33 100.0	17 100.0	18 100.0	20 100.0	208 100.0	0% 10% 20% 30% 40% 50
医療現場のニーズに対応できるプログラムを立案 する	35 29.2		6 35.3	5 27.8	6 30.0		
患者さんの立場で情報活動ができるよう研修内容 を工夫する	34 28.3	15 45.5	5 29.4	4 22.2	5 25.0		
医学の高度化・専門化に対応できるような研修を 導入する	30 25.0	8 24.2	9 52.9	7 38.9	8 40.0	62	
MRの学習意欲を高めるためプログラムを工夫する	39 32.5	13 39.4	2 11.8	4 22.2	3 15.0	61	
研修ごとに到達目標を明確に設定する	33 27.5	10 30.3	9 52.9	1 5.6	4 20.0		
全員が最新の教育理論と具体的な研修手法の共有 化を図る	26 21.7	10 30.3	6 35.3	4 22.2	6 30.0		
自学自習を習慣づけるために e ーラーニングシステムを充実	30 25.0	9 27.3	6 35.3	3 16.7	1 5.0	49 23.6	
MRの考える力を高めるためにダイアローグを取り 入れる	26 21.7	5 15.2	6 35.3	8 44.4	3 15.0		
若手・ベテランを問わず、トレーナーを社外セミ ナーに参加	30 25.0	8 24.2	5 29.4	2 11.1	2 10.0		
偏らないようMR参加型プログラムも取り入れる	25 20.8	10 30.3	4 23.5	5 27.8	2 10.0	10	
研修に対するトップやマネージャーの理解が得られる工夫	21 17.5	10 30.3	4 23.5	5 27.8	3 15.0	10	
「自社の目指すMR像」又は「自社MRの行動規範」 を策定	19 15.8	9 27.3	6 35.3	2 11.1	6 30.0		
自社製品に関連する「診療ガイドライン」を使い こなす	20 16.7	12 36.4	6 35.3	0.0	3 15.0	41 19.7	
医療関係者との信頼関係が築けるよう面談スキル 研修を強化	25 20.8		2 11.8	0.0	1 5.0	40 19.2	
向上意欲に応えるために上級MR・社内認定制度を 導入する	19 15.8	5 15.2	7 41.2	1 5.6	7 35.0	39 18.8	
一斉テストや研修前後の知識確認テストを行う	22 18.3	8 24.2	4 23.5	0.0	2 10.0	36 17.3	
その他	1 0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1 0.5	
無回答	12 10.0	3 9.1	1 5.9	4 22.2	7 35.0	27 13.0	